

# 7か月児教室



木更津市こども保育課

## ★発達原則★

①発達の順序はみんな同じ。

首が座る→お座り→はいはい→つかまり立ち→歩行

②さまざまな機能がかかわりながら発達する。

一見関係がないように思えても首が座らないと物を目で追って見続けることは難しく、あやされた時の笑い声が出にくいとされています。つまり、首が座るといふ全身運動の機能と言語や認識の機能が深くかかわっています。

③発達には個人差がある。

1歳頃になると一語文が出て、2歳近くになると転ぶことなくしっかり歩けるようになるなど能力や機能を獲得する時期には、おおよその目安がありますが、あくまでも平均値で、実際には個人差があります。

## ★育児に生かす2つのポイント★

①見通しをもって子育てをしましょう。

成長、発達の道順を知っていれば、「今はこうだから、もう少し待てばできるようになる」となると思います。

②今必要なことをたくさんさせてあげましょう。

早くできるようになることよりも、今できることをたくさん経験させましょう。腹ばいを好まず早くからお座りで過ごしていると転んだ時に手が出にくいということにつながっていきます。そうならないためには、腹ばいの遊びを充実させて、はいはいを誘うかかわりが必要になります。今できることを充実させて次につなげていけるようにしましょう。

## ★子どもの発達と遊び★

～子どもの発達にそったおもちゃ～

おおむね6ヶ月～1歳3ヶ月未満 ⇒ 握るからつまむ

1歳3ヶ月頃までには、つまむ、ひっぱる、たたく、振る、転がす、容器の物を出したり入れたりするなど、多彩な手の機能を獲得し探索活動が活発になります。

5ヶ月頃 . . . 少し重いガラガラ（握って振る）

7ヶ月頃 . . . //（持ったものを持ち替える）

9ヶ月頃 . . . 鈴（音のするものに興味を持つ）

10ヶ月頃 . . . 赤ちゃん用ラッパ（吹くことができる）

1歳頃 . . . ねじ蓋の容器（手首を回転させ始める）

1歳3ヶ月頃 . . . ポットン落とし（手の動きが多彩になる）

同じものを何度も落としては、拾ってもらうのを待つて喜ぶ姿が見られる時期です。繰り返しに応じてあげましょう。

おおむね1歳3ヶ月～2歳未満 ⇒ 活発になる探索活動

1歳半の節目の時期「こうしたい」という目的を持って遊ぶようになり、遊びに思いが表れます。並べたり重ねたりを何度も繰り返す姿が見られ、自分の思い通りにできた時は手をたたいて喜び、満足感や達成感を得て「見て」と大人に嬉しそうなまなざしを向けてきます。

ノックアウトボール・・・手首のコントロールができる  
Jハンマートーイ・・・狙いを定めてたたく  
ポットン落とし・・・向きを見ながら入れる  
ポストボックス・・・型はめ  
ティッシュボックス・・・つまみ出しと探索遊び  
ねじ蓋の容器・・・手首をひねる

まわりの大人と喜びを共感し、認めてもらうことで、意欲や自信が育まれていきます。

## おおむね2歳 ⇒ 豊かな手指の遊びが自我の育ちを支援

自我が育ち、自己を主張する2歳の子どもたちは、何でも「じぶんで」と主張するようになります。自分で何でもやりたい気持ちを大切にするために、遊びにも日常生活で使う手の動きを取り入れていきましょう。

スナッフはめの遊び

ボタンはめの遊び

身近なものを利用した遊び

- ・・・洗濯ばさみ、  
ペットボトルとシュシュ

通す遊び

- ・・・ひも通し

つまむ遊び

- ・・・ワイヤーメイズ  
シロホン付 玉の塔  
マグネット付 色板

しっかりと手や指を使って遊び込むことで、自我が芽生えます。そして、何でもやってみたい子どもの生活の力となり自信を培いながらその発達を支えます。

## ★身近なものでおもちゃをつくりましょう★

ペットボトルやミルク缶などの空容器で簡単におもちゃが作れます。工夫して作ってみましょう。

小さな物は、誤飲の恐れがありますので注意しましょう。

### ○ペットボトルのガラガラ

用意するもの

- ・ 500ml 又は 350 ミリリットルのペットボトルの空容器
- ・ 鈴やビーズ等

作り方

- ・ ペットボトルの中に鈴やビーズなどを入れて蓋をしっかりとめてセロテープで止めて蓋が取れないようにする。セロテープの上に好きな色のビニールテープをはるとさらに綺麗な仕上がりになります。

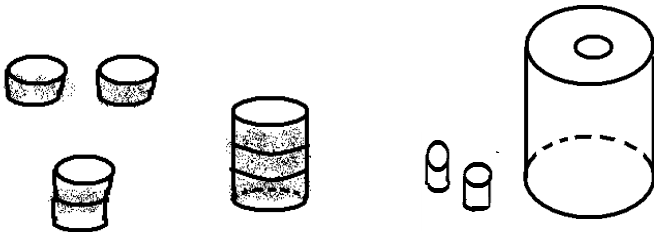
### ○ポットン落とし

用意するもの

- ・ ミルク缶やタッパーの容器

作り方

- ・ ふたに、ペットボトルのキャップより少し大きめに穴を開けます。ペットボトルのキャップ 3～4 個をビニールテープでつなげます。



## ★わらべうたで遊びましょう★

子ども達にとってお母さんが生の声でうたってあげることが一番うれしいことです。『大好きよ』の思いをたっぷり込めて、ゆったりとわらべ歌をうたってあげましょう。わらべ歌を歌っているとお母さんも心がやすらいでくることでしょう。

### 顔あそび

#### ♪めんめんすーすー♪

めんめん (左目じりを2回つつく)

すーすー (鼻に2回すじをひく)

けむしし (左まゆを2回こする)

きくらげ (左耳たぶを2回ひっぱる)

ちゅっ! (唇をチョン!) 同様に右も行う。

#### ♪おおやまこやま♪

おおやまこやま (右まゆから左まゆをなぞる)

ながさかこえて (鼻すじをなでる)

せきぼんとはねて (鼻の下から口をとびこえる)

こちょこちょこちょ (あごの下をくすぐる)

#### ♪ここはとうちゃんにんどころ♪

ここは とうちゃんにんどころ (右頬を人指し指で4回触る)

ここは かあちゃんにんどころ (左頬を人指し指で4回触る)

ここは じいちゃんにんどころ (おでこを人指し指で4回触る)

ここは ばあちゃんにんどころ (あごを人指し指で4回触る)

ここは ねえちゃんにんどころ (鼻の頭を人指し指で4回触る)

だいどうだいどう (顔のまわりをぐるりとなでる)

こちょこちょこちょ (くすぐる)

## 腕あそび

### ♪ちよちよちあわわ♪

- ちよちよち (両手を2回たたく)  
あわわ (両手をを口にあてる)  
かいぐりかいぐり (両腕をぐるぐると2回まわす)  
とつとのめ (左手の平を右手の指で3回つつく)  
おつむてんてん (両手で頭を2回さわる)  
ひじぼんぼん (片方の手で肘を2回さわる)

### バリエーション

最後の「ひじ」をおなか、膝、足、肩、腕など、体のいろいろな所に替えて、触れる楽しさが感じられるようにあそんでみましょう。

## 体をつかったあそび

### ♪うまはとしとし♪

- うまはとしとし  
ないもつよい  
うまはつよいから  
のりてさんもつよい



膝に子どもを向かい合わせに乗せ、背中を両手で支えます。歌に合わせて軽く上下にゆらし、「のりてさんもつよい」でストンと膝の間に落とします。

☆のりてさんをお子さんの名前にしてうたいましょう。

☆お馬の親子の歌で遊んでもいいでしょう。



## 布をつかったあそび

### ♪にぎりぱっちり♪

にぎり ぱっちり たてよこ ひよこ  
ぴよぴよぴよ

柔らかい布やお手玉を両手の中に入れて隠し持ちます。  
にぎりぱっちりたてよこひよこ・・・でリズムに合わせて両手を  
上下に動かしばよぴよ～で手を開きます。

### ♪ちゅっちゅっこっこ♪

ちゅっ ちゅっこっこ とまれ  
とまらにや とんでけ～

布を持って揺らし、とんでけ～で、布をとばします。

### ♪うえから したから♪

うえから したから おおかせ こい  
こい こい こい

子どもの前で、布を上下に揺らし、こいこいこいで  
子どもの顔に布をかけ「いない いない ばあ」と言って外す。

## くすぐりあそび

### ♪いちり にり さんり♪

いちり (足のつま先をさわる)  
にり (足のかかとをさわる)  
さんり (ひざをさわる)  
しりしりしり (おしりをくすぐる)

## ★親子で体を動かしてあそびましょう★

体を使ってあそぶ機会が少なくなり、子ども達の体力や運動能力の低下が大きくクローズアップされている現在です。小さい頃から体を使った遊びを工夫しましょう。

### ○はいはい追いかっこ

はいはいが上手になったら、一緒にはいはいをして「まてまて～」と追いかっこを楽しみましょう。段ボールなどのトンネルをくぐったり、かくれんぼをしても楽しいでしょう。

はいはいでたくさん遊ぶと「支持力」が身に付き、転んだ時に手が出て、身を守る能力がつきます。

### ○ボールであそぼう

ボールを使って「はいどうぞ」と手渡したり「ちょうだい」ともらったりしてみましょう。また転がしたり、投げたりして遊びましょう。

ボール遊びは、体を動かすだけでなく、「やり取り」が出来るようになるとお友達にも「どうぞ」とできるようになり社会性が育まれます。

### ○動物になってあそぼう

うさぎになってぴよんぴよんと跳ねる真似や、ぞうやペンギンの真似をして歩いたり、いも虫になってころころと転がって遊びましょう。

☆親子で一緒に楽しく遊ぶことがスキンシップにつながります。

## ★絵本を楽しみましょう★

まだ字を読むことや、言葉の意味を全部理解できない赤ちゃんも、絵をじっと見つめたり、指差したり、読んでくれる人を見つめて耳を澄ませたりと、赤ちゃんそれぞれの絵本の楽しみ方があります。「絵本を読む」のではなく、大好きな人と一緒にその楽しいひと時を「分かち合う」・・・そんなひと時が過せたらとても幸せなことですね。

### ○おすすめ絵本の紹介

「じゃあじゃあびりびり」

「ばいばい」

「みんなでね」

作・絵 まついのりこ

出版社 偕成社

「おててがでたよ」

「きゅっきゅっきゅっ」

「おつきさまこんばんは」

「くつつあるけ」

作・絵 林 明子

出版社 福音館書店

「くつついた」

作・絵 三浦太郎

出版社 こぐま社

「もこ もこもこ」

作 谷川 俊太郎

絵 本永 定正

出版社 文研出版

「くだもの」

作 平山 和子

出版社 福音館書店

「たまごのあかちゃん」

作 神沢 利子

絵 柳生 弦一郎

出版社 福音館書店

「かおかおどんなかお」

作 柳原 良平

出版社 こぐま社

☆色や形の鮮明な挿し絵の絵本が望ましいでしょう。

☆お子さんと一緒に楽しい発見や感動を繰り返し

楽しみましょう。